

保健福祉センター 受理年月日 . . .	課長	係長	係員	生活福祉課 受理年月日 . . .
送付 年月日 . . .				処理日 / /

※ (医療機関 介護機関 施術者 助産師)

生活保護法 指定 指定辞退届書

中国残留邦人等支援法 (注)

次のとおり生活保護法による指定を辞退します。

指定医療機関等	番 号		
	名 称		
	所在地	〒 ー	電話番号

辞 退 年 月 日	年 月 日
-----------	-----------------

辞 退 理 由	
---------	--

事業の種類	
-------	--

委託患者の措置状況	
-----------	--

誓約事項	<input type="checkbox"/> 生活保護法第 49 条の 2 第 2 項各号 (助産師又は施術者は、第 1 号、第 4 号ただし書、第 7 号及び第 9 号を除く。) に該当しない旨の誓約
------	---

年 月 日

(宛先) 京 都 市 長

住所
届出者
(開設者)
氏 名

注意事項

1. この書類は、生活福祉課（本庁）に直接、又は各区役所（支所）保健福祉センター生活福祉課を経由して提出してください。
2. この書類は、指定を辞退しようとする日の30日前までに提出してください。
3. この書類は、生活保護法の指定のみ辞退されるとき提出してください。
廃業等の場合には、廃止届書を提出してください。

記載要領

1. ※印のところは不要のものを一で消してください。
2. 指定医療機関等の「番号」は、医療機関等コード又は介護事業者番号を算用数字で記載してください。
3. 指定医療機関等の「名称」は略称等を用いることなく、医療法等により許可を受け又は届け出た正式な名称を用い、病院か診療所か判然としない名称の場合には、名称の次に「(診療所)」のように記載してください。なお、施術者又は助産師は氏名も記載してください。
4. 指定医療機関等の「所在地」は、施術所を開設しない施術者又は助産所を開設しない助産師は住所を記載してください。
5. 「辞退年月日」は届出日から30日以後において、生活保護法による指定を辞退しようとする日を記載してください。
6. 「委託患者の措置」は既に行った措置及び今後予定している措置を記載してください。
7. 届出者が法人の場合には、法人名とともにその代表者の氏名及び主たる事務所の所在地を記載してください。

(注) 中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律

(誓約事項)

生活保護法第 49 条の 2 第 2 項第 2 号から第 9 号までの規定関係

○ 第 2 項第 2 号関係

開設者が、禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であること。

○ 第 2 項第 3 号関係

開設者が、生活保護法その他国民の保健医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定(※)により罰金の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなるまでの者であること。

※ その他国民の保険医療若しくは福祉に関する法律で政令で定めるものの規定

- 1 児童福祉法 (昭和 22 年法律第 164 号)
- 2 あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律 (昭和 22 年法律第 217 号)
- 3 栄養士法 (昭和 22 年法律第 245 号)
- 4 医師法 (昭和 23 年法律第 201 号)
- 5 歯科医師法 (昭和 23 年法律第 202 号)
- 6 保健師助産師看護師法 (昭和 23 年法律第 203 号)
- 7 歯科衛生士法 (昭和 23 年法律第 204 号)
- 8 医療法 (昭和 23 年法律第 205 号)
- 9 身体障害者福祉法 (昭和 24 年法律第 283 号)
- 10 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 (昭和 25 年法律第 123 号)
- 11 社会福祉法 (昭和 26 年法律第 45 号)
- 12 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
(昭和 35 年法律第 145 号)
- 13 薬剤師法 (昭和 35 年法律第 146 号)
- 14 老人福祉法 (昭和 38 年法律第 133 号)
- 15 理学療法士及び作業療法士法 (昭和 40 年法律第 137 号)
- 16 柔道整復師法 (昭和 45 年法律第 19 号)
- 17 社会福祉士及び介護福祉士法 (昭和 62 年法律第 30 号)
- 18 義肢装具士法 (昭和 62 年法律第 61 号)
- 19 介護保険法 (平成 9 年法律第 123 号)
- 20 精神保健福祉士法 (平成 9 年法律第 131 号)
- 21 言語聴覚士法 (平成 9 年法律第 132 号)
- 22 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (平成 17 年法律第 123 号)
- 23 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律 (平成 17 年法律第 124 号)
- 24 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律
(平成 18 年法律第 77 号)
- 25 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律 (平成 23 年法律第 79 号)
- 26 子ども・子育て支援法 (平成 24 年法律第 65 号)
- 27 再生医療等の安全性の確保等に関する法律 (平成 25 年法律第 85 号)
- 28 国家戦略特別区域法

(平成 25 年法律第 107 号。第 12 条の 4 第 15 項及び第 17 項から第 19 項までの規定に限る。)

29 難病の患者に対する医療等に関する法律 (平成 26 年法律第 50 号)

30 公認心理師法 (平成 27 年法律第 68 号)

31 民間あっせん機関による養子縁組のあっせんに係る児童の保護等に関する法律

(平成 28 年法律第 110 号)

32 臨床研究法 (平成 29 年法律第 16 号)

○ 第 2 項第 4 号関係

京都市長が当該指定の取消しの処分の理由となった事実その他当該事実に関して開設者が有していた責任の程度を確認した結果、開設者が当該指定の取消しの理由となった事実について組織的に関与していると認められない場合を除き、開設者が、生活保護法の規定により指定医療機関の指定を取り消され、その取消しの日から起算して 5 年を経過しない者であること (取消しの処分に係る行政手続法 (平成 5 年法律第 88 号) 第 15 条の規定による通知があった日前 60 日以内に当該指定を取り消された病院若しくは診療所、薬局又は訪問看護事業者等の管理者であった者が当該取消しの日から起算して 5 年を経過しないものを含む。)

○ 第 2 項第 5 号関係

開設者が、生活保護法の規定による指定の取消しの処分に係る行政手続法 (平成 5 年法律第 88 号) 第 15 条の規定による通知があった日から当該処分をする日又は処分をしないことを決定する日までの間に第 51 条第 1 項の規定による指定の辞退の申出をした者 (当該指定の辞退について相当の理由がある者を除く。) で、当該申出の日から起算して 5 年を経過しないものであること。

○ 第 2 項第 6 号関係

開設者が、生活保護法の規定による検査が行われた日から聴聞決定予定日 (当該検査の結果に基づき生活保護法の規定による指定の取消しの処分に係る聴聞を行うか否かの決定をすることが見込まれる日として都道府県知事が当該開設者に当該検査が行われた日から 10 日以内に、検査日から起算して 60 日以内の特定の日を通知した場合における当該特定の日をいう。) までの間に生活保護法の規定による指定の辞退の申出をした者 (当該指定の辞退について相当の理由がある者を除く。) で、当該申出の日から起算して 5 年を経過しないものであること。

○ 第 2 項第 7 号関係

第 5 号に規定する期間内に生活保護法の規定による指定の辞退の申出があった場合において、開設者 (当該指定の辞退について相当の理由がある者を除く。) が、同号の通知の日前 60 日以内に当該申出に係る病院若しくは診療所、薬局又は訪問看護事業者等の管理者であった者で、当該申出の日から起算して 5 年を経過しないものであること。

○ 第 2 項第 8 号関係

開設者が、指定の申請前 5 年以内に被保護者の医療に関し不正又は著しく不当な行為をしたものであること。

○ 第 2 項第 9 号関係

当該申請に係る病院若しくは診療所、薬局又は訪問看護事業者等の管理者が第 2 号から前号までのいずれかに該当すること。